田原市立泉小学校　令和６年度１１月号　　令和６年１２月２日

泉小だより

清美 校訓

学校教育目標　心豊かでたくましい子　〇深く考える子　〇がんばりぬく子　〇助け合うやさしい子

学びから得た「気づき・思い・考え」を発信すること
～ 学習発表会を終えて ～

校長　小野　勇一

１１月１６日、学習発表会を行いました。本年度は土曜日に開催しました。多くの保護者や来賓、地域の皆様にご来場いただき、誠にありがとうございました。

学校行事（練習期間も含め）は、子どもたち一人ひとりを伸ばし、学年・学級を集団として成長させる大切な機会です。学習発表会のねらいは、次のとおりです。

〇　学習発表の場を設け、その成果を保護者に知らせ、子ども一人ひとりに達成感を味わわせる。

〇　学級での練習・準備・発表などを通して、子どもの自主性や責任感、協調する気持ちを育み、集団への所属感・連帯感を深める。

どの学年も、子どもの学びや成果の発表の中に、子どもたちの思いや考え、発想を活かすよう、練習を進めてきました。子どもたちは、伝える言葉や意味を吟味し、言い回し方や動きなど、表現の方法を工夫してきました。グループごとにアドバイスし合ったり、仲間どうしで助け合ったりするなど、集団の中で自分のやるべきことを理解し、団結して取り組んでいる様子が見られ、大変うれしく感じました。

本番は、どの学年も「自分たちの目標」に向けて努力してきた成果がよく表れており、素晴らしい発表ばかりでした。発表会を通して、自分の伝えたいことを相手に分かりやすく発信する力を高めることができたものと思います。そして、合唱や合奏など、仲間と声を合わせ、息を合わせ、心を１つにした演技や発表は、人々の心を揺さぶり、子どもたちには達成感を、観客には感動を与えてくれる、価値の高い教育活動であると改めて感じました。子どもたちへの応援ありがとうございました。

1年　音読劇「サラダでげんき」

2年　合奏「かぼちゃ」

3年　音読劇「モチモチの木」

4年　ダンス「できっこないをやらなくちゃ」

5年　合奏「キリマンジャロ」

6年　合唱「いのちの歌」

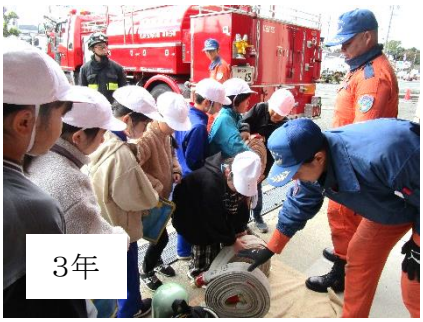
― 体験から学ぶ　～見て・聞いて・触れて・感じて ―

２学期は、校外へ出て学ぶ機会が多いです。２年生は、生活科の「もっと知りたいたんけんたい」の学習で、泉校区にあるマリンテック㈱さんへ町探検に行きました。大きな水槽の中にいるアユの稚魚やヒラメの成魚などの様子に驚き、エサの工夫や豊かな地下水の利用などについて教わりました。そして、働く人の思いに触れ、多くの気づきを得た貴重な学びとなりました。

社会科では、５年生が「自動車をつくる工業」の学習でトヨタ自動車田原工場へ、３年生が「火事からくらしを守る」の学習で田原市消防署渥美分署へ出かけ、自動車生産の仕組みや消防の体制、それぞれの施設・設備などを知りました。働く人たちの様子を間近で見て、お話を聞き、設備や器具などに触れ、職場の雰囲気を感じることで、教室ではできない貴重な学びができたようです。

こうした学びを積み上げていくことで、社会的な見方・考え方を育むとともに、子どもたちの勤労観や職業観の発達へとつなげていければと思います。

2年


3年

5年

― 赤い羽根共同募金 そして 人権週間 ―

１１月、本校も赤い羽根共同募金運動の趣旨に賛同し、児童会から全校児童に呼びかけ募金活動に参加しました。共同募金で寄せられた寄附金は地域福祉サービスの提供や様々な福祉活動への支援に活用されています。本校も、田原市社会福祉協議会より助成金をいただき、福祉実践教室の実施などに活用させていただいています。本年度は、１２，０９５円の募金が集まりました。ご家庭からのご理解ご協力、誠にありがとうございました。

児童会役員
各教室へ

１２月４日から１０日は、人権週間です。先日の全校朝会で、子どもたちに詩人・金子みすゞさんの詩「こだまでしょうか」を紹介しました。言葉は「言霊（ことだま）」とも言われます。言葉はもう一人の自分自身です。どんな言葉を知っているか。どんな言葉を使うかで、「考え方」も「かかわり方」も変わってきます。

子どもたちには、自分たちが使う「言葉」について考えることで、人権の意味を正しく理解し、常に相手を意識した行動ができる人へと成長してほしいです。そして、素敵な言葉の溢れる学校にしていきたいです。

こだまでしょうか
金子みすゞ

「遊ぼう」っていうと
「遊ぼう」っていう。
「馬鹿」っていうと
「馬鹿」っていう。
「もう遊ばない」っていうと
「遊ばない」っていう。
そうして、あとで
さみしくなって、
「ごめんね」っていうと
「ごめんね」っていう。
こだまでしょうか、
いいえ、誰でも。